

1 単元名・教材名 「Let's introduce Japan!」

『Junior Sunshine 6』 Lesson4 「Welcome to Japan. 日本のことを紹介しよう。」

2 単元の目標

- 日本のことを紹介する言い方を理解することができる。また、単語のはじめの音とその文字を理解することができる。 (知識・技能)
- 日本のことを紹介することができる。 (思考力・判断力・表現力)
- 他者に配慮しながら、友達と協力して日本のことを紹介しようとする。 (主体的に学習に取り組む態度)

3 関連する学習指導要領における領域別目標

聞くこと	ウ 日本各地の名所や自然, 行事, 食べ物についての紹介を聞いて, 理解することができる。
読むこと	ア 単語のはじめの音を注意して聞き, 小文字を正しく選び取ることができる。
話すこと[発表]	イ 日本のことを紹介することができる。
書くこと	ア 例を参考にしながら, 日本のことを紹介するカードに必要な単語を書き写すことができる。

4 単元の評価規準 ※記録を残す評価

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
聞くこと	〈知識〉日本各地の名所や自然, 行事, 食べ物を表す語句や Welcome to ~. We have ~. It's ~. などの表現について理解している。	日本のことをより理解するために, 各地の名所や自然, 行事, 食べ物などについて話されるのを聞いて, その概要を捉えている。	日本のことをより理解するために, 各地の名所や自然, 行事, 食べ物などについて, 簡単な語句や基本的な表現を用いた話などを聞こうとしている。
読むこと	〈知識〉単語の音とそれが示す小文字について理解している。 〈技能〉身近な単語を識別したり, そのはじめの音を発音したりする技能を身に付けている。		身近な単語について, 示されている文字を手がかりに, はじめの音を声に出して読もうとしている。
話すこと[発表]	〈知識〉Welcome to ~. や We have ~ in... などの表現について理解している。 〈技能〉日本について, Welcome to ~. や We have ~ in... などの表現を用いて, 紹介したい各地の名所や自然, 行事, 食べ物などを話す技能を身に付けている。	日本のことを紹介するために, 各地の名所や自然, 行事, 食べ物などについて, 簡単な語句や基本的な表現を用いて話している。	日本のことを紹介するために, 各地の名所や自然, 行事, 食べ物などについて, 簡単な語句や基本的な表現を用いて話そうとしている。
書くこと	〈知識〉Welcome to ~. や We have ~ in... などの表現について理解している。 〈技能〉日本各所の名所や自然, 行事, 食べ物などについて, 例を参考にしながら紹介カードを書き写す技能を身に付けている。	日本のことを紹介するカードを作るために, 例を参考にしながら, 各地の名所や自然, 行事, 食べ物などについて書かれた簡単な語句や基本的な表現を書き写している。	日本のことを紹介するカードを作るために, 各地の名所や自然, 行事, 食べ物などについて書かれた簡単な語句や基本的な表現を書き写そうとしている。

5 単元の指導と評価の計画（6時間）

時	目標◆・活動○【】	評価			
		知 技	思 判 表	態 度	評価規準〈評価方法〉
1	<p>◆日本の食べ物，自然，行事，名所の言い方を理解することができる。</p> <p>○Small Talk ・担任，ALT のやり取りを聞き，本時のめあてをつかむ。</p> <p>【Let's Listen1】 ・教科書の4人の児童の英語を聞き，おおよその内容をつかむ。</p> <p>○単元のゴールをつかむ。</p> <p>【Let's Play1】 ○ミッシングゲーム</p> <p>【Let's Play2】 ○4つの分野（食べ物，自然，行事，名所）について，日本のよいところを考える。</p>			聞	日本の食べ物や自然，行事，各所の表現を理解しようとしている。〈行動観察〉
2	<p>◆日本の食べ物，自然，行事，名所の紹介の仕方を理解することができる。</p> <p>○Small Talk ・ミッシングゲーム</p> <p>【Let's Chant】 ・チャンツをして，前時の復習をする。</p> <p>○【Let's listen2】を聞いて，本時のめあてをつかむ。</p> <p>【Let's Play3】 ・キーワードゲーム</p>	聞	聞	聞	日本を紹介するための語彙や表現を聞いて理解することができる。〈行動観察・書き込み点検〉
3	<p>◆日本の紹介の仕方を理解し，日本について紹介したいことを考えることができる。</p> <p>○Small Talk ・キーワードゲーム</p> <p>○日本各地の有名なものを紹介し合うデモンストレーションを見て，本時のめあてをつかむ。</p> <p>【Let's Chant】 ・既習内容の復習をする。</p> <p>【Let's Listen 3】 ・教科書に出てくる4人の話を聞いて，分かったことを表に書く。</p> <p>【Let's Play 4】 ○それぞれの発表したいことをもとに，3人のグループになり，発表内容を考える。</p>	聞	聞	聞	日本各地を紹介する英語を聞いて理解することができる。〈行動観察・書き込み点検〉
4 本 時	<p>◆日本のことを紹介する紹介カードを作成し，グループで発表の練習をすることができる。</p> <p>○Small Talk ・キーワードゲーム</p> <p>○日本各地の有名なものを紹介し合うデモンストレーションを見て，本時のめあてをつかむ。</p> <p>○グループで教科書の見本を参考に，紹介カードを作成する。</p> <p>○完成したグループは互いに紹介カードを使ってSmall Talkをする。</p> <p>○相手により上手く伝えるためには，どうしたらよいか，グループで話し合う。</p>	書	書	書	日本のことを紹介する表現について書くことができる。〈行動観察・書き込み点検〉 新たな表現を取り入れ，紹介カードをさらに工夫して作成しようとしている。〈行動観察・書き込み点検〉

5	<p>◆日本のことを紹介することができる。</p> <p>○Small Talk ・ミッシングゲーム</p> <p>【Let's Chant】</p> <p>○【Let's try】 ・スペインの日本人学校の子どもに向けて、日本のことを紹介する発表会をする。</p> <p>○単元のふり返しをする。</p>	発	発	発	<p>日本についてわかりやすく発表することができる。</p> <p><行動観察・書き込み点検></p>
6	<p>◆単語のはじめの音を注意して読むことができる。</p> <p>○Small Talk ・キーワードゲーム</p> <p>○【Let's sing】の Jingle2 を歌い、本時のめあてをつかむ。</p> <p>○単語や単語の初めの音を聞いて、答えを教科書に書く。</p> <p>○本時のふり返しをする。</p>	読		読	<p>単語のはじめの音を聞いて、小文字を正しく選ぶことができる。</p> <p><書き込み点検></p> <p>単語のはじめの音を予測し、それを発音して伝え、教師が思っている単語を作ることができる。</p> <p><行動観察></p>

6 指導上の立場

(1) 単元観

本単元では、日本の食べ物や自然、行事、名所などについて紹介する。5年生では、新本の赤米を紹介することにより、新本を見つめ直したり、新たな発見をしたりすることができた。今回は日本全国に範囲を広げ、日本のよさを再発見して自分の言葉で発信させたいという願いが込められている。社会科との関連ももたせ、グループで日本のことについて調べ、ALT や先生方に伝えたり、本単元の目標であるスペインの日本人学校の児童に向けて紹介カードを送ったりするなど、相手を意識して表現することにより、意欲的に取り組むことができるようにする。本時では、より分かりやすく日本を紹介するために、紹介カードを作り、書くことに必然性をもたせるようにする。

また、英語の文字に慣れるために、教科書 P 8 6 の Jingle2 を歌いながら、単語のはじめの音を注意深く聞き、p と b、k と g、s と z、f と v のように、無声音か有声音の違いで発音の仕組みが似ている単語のはじめの音（先頭音）を聞き分けられるようにしたい。聞き分けながら、正しいアルファベットの小文字と適合させることで、先頭音に対する理解が深まっていくと考えられる。そして、意欲性をもたせるために、単語のはじめの音を用いた単語ゲームを取り入れるなどして、楽しみながら単語の中の文字がもつ音の仕組みに慣れていくことができるようにする。

(2) 児童観（男子9名 女子0名 計9名）

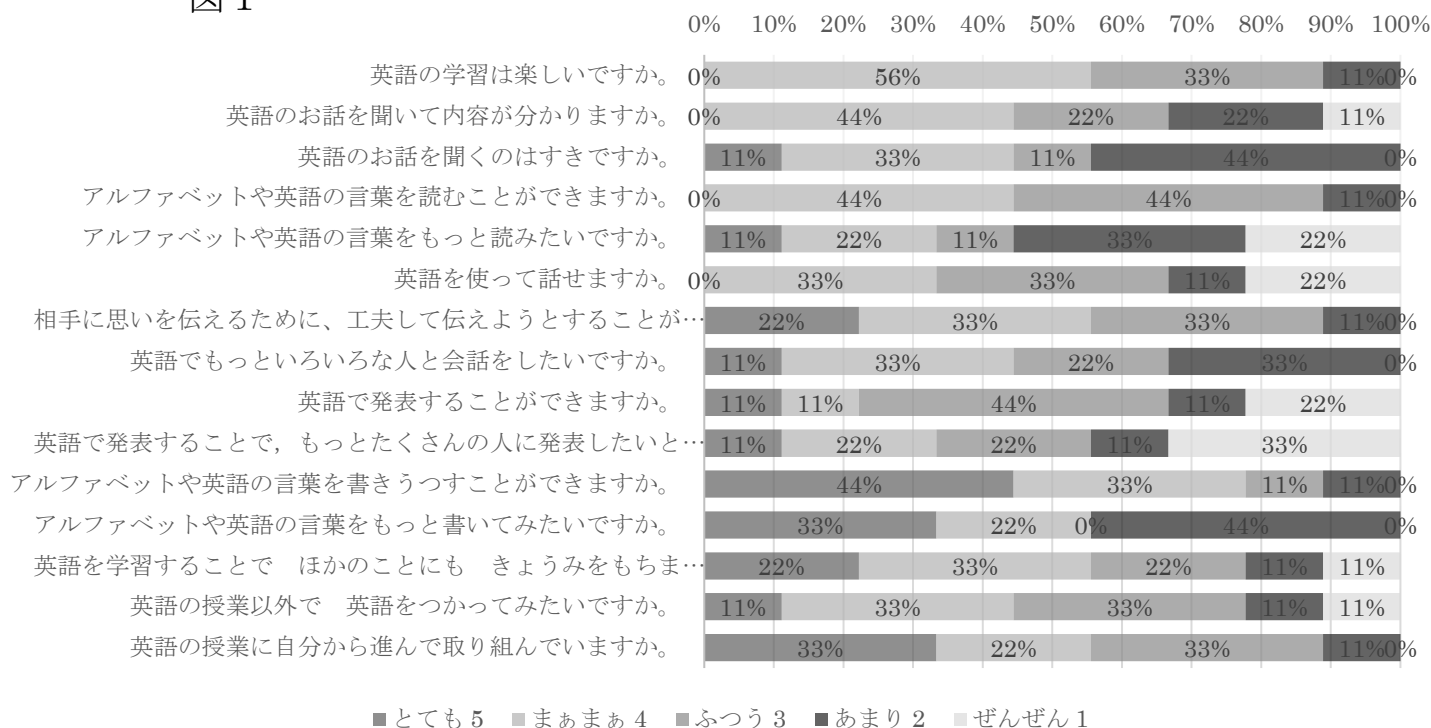
本学級の児童は学習課題をつかむと、解決に向けて一生懸命取り組み、自分の考えを積極的に発言しようとする姿が見られる。多様な意見を出し合い、児童同士で討論し、よりよい方法を考えることができる。英語科の学習の中では、体を動かし、ゲーム性の高いものに対しては、意欲的に取り組むことができるが、そうでない活動になると意欲が低くなる傾向がある。

5月の英語アンケート（※図1）からは、「英語の授業に自分から進んで取り組んでいますか」と答えた児童が89%と肯定的であるのに対し、「アルファベットや英語の言葉をもっと書いてみたい」ということに肯定的な意見をもつ児童が55%と少ない。英語科の「書く」で否定的な回答が多いことから、まだまだ英語の活動に苦手意識をもつ児童が多いことも考えられる。

本単元は、日本のことを紹介する内容になっている。現6年児童の5年時の担任教諭が今年度からスペイン・マドリッドの日本人学校に勤務していることから、その学校の児童に向けて日本のことを紹介する活動にしたいと考えている。同じ日本人とはいえ、スペインでの生活が長い児童の中には日本の文化に触れる機会が少ない児童もいると聞いている。そういった児童に日本のよさを紹介し、英語を介してのコミュニケーションの楽しさを感じたり、もっと交流したいという意欲をもったりできるようにしたい。

英語アンケート（6年）

図 1



(3) 研究主題との関わり

本校の研究主題は「自分の思いや考えを伝え合い、地域や世界とつながろうとする児童の育成～本物で必然性のある外国語活動・外国語科を目指して～」であり、本校の考える仮説についての基本的な考え方は、次の3つである。

仮説

- ① 単元や発達段階の特性を踏まえて言語活動を工夫することにより、児童は、自分の思いや考えやもち、それを伝え合うための知識・技能を身に付けるであろう。
- ② 1単位時間または単元の中で、児童自身による評価（振り返り）や教師による評価を適切に行うことによって、児童は思考力・判断力・表現力を高めながら学習に取り組むであろう。
- ③ 学びのつながりを意識して、様々な人々と関わるができる単元（新本オリジナル）を構成することで、英語によるコミュニケーションの楽しさを味わい、より広い世界に目を向けるであろう。

① について

Warming up では、**Japanese food, nature, place, events** に関する単語のゲームを取り入れ、日本を紹介する表現に慣れることができるようにするとともに、このゲームを通して、英語で自分の思いや考えを相手に伝えようとする力を養うことができるようにしたい。単元前半の **Activity** では、チャンツなどを取り入れ、楽しみながら既習事項を想起できるようにする。単元後半では、指導者によるデモンストレーションから、めあてに向けて、こんなことも伝えたいという自分の思いを広げていくことができるような言語活動を取り入れる。

本時では、既習事項を使い、グループで日本を紹介する紹介カードを作成する。「作成した紹介カードを

スペインの小学生に送る」というゴール設定があるため、児童は、伝えたい語句を進んで英語表現に直そうとしたり、正確に書こうとしたりする姿が見られるであろう。カードが完成したグループから、お互いに Small Talk に挑戦することで、伝わった時の喜びを感じたり、新たな課題に気付いて自ら解決しようとする姿を期待する。

② について

毎回の授業の時間で全てを見取るのではなく、単元のまとまりの中で学習内容と評価の場面を適切に組み立てていくことができるようにするため、単元を通した評価の計画を立てている。この評価規準と評価の計画を活用することで、児童の学習状況を的確に捉え、教師の指導改善につなげることができるようにする。担任、ALT、小中連携担当教員が同じ場面、同じ評価規準で児童を評価することで、個々の児童の達成状況に応じたより適切な支援ができると考える。本単元では、「話すこと[発表]」「書くこと」「聞くこと」に焦点を置き、記録に残す評価を行う。

児童は、単元に入る前に、教科書裏表紙の CAN-DO マップで、単元終了後に達成すべき自分の姿を確認する。1年間単元が終わるごとに英語を使って「できた」ことを振り返り、その積み重ねを自信にして、中学校への学びにつなげられるようにする。また、授業後に達成度を振り返ることで、できたことと次にがんばりたいことを自覚できるようにする。そうすることで、児童の思考力・表現力・判断力を高められると考える。

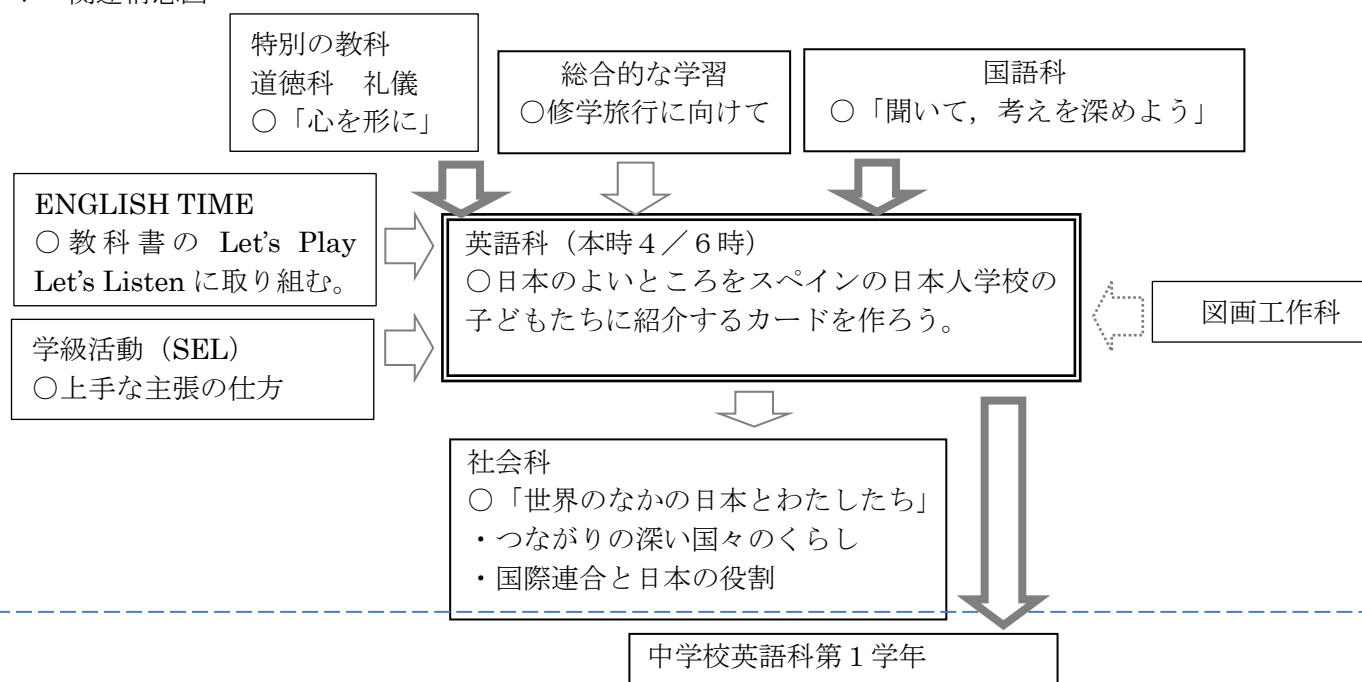
本時では、スペインの日本人学校の子どもたちに向けて、日本のよいところを紹介するための紹介カードを3人グループで作成する。本時も自己評価に加え、担任、ALT、小中連携担当教員からの評価から、今後に向けてさらに自己調整できるようにする。さらに、英語で発表することに関心をもって日本のよいところを伝えていく姿を期待する。

③ について

本単元は、日本のよいところを紹介する内容になっている。しかし、今年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、修学旅行で県外へ行くことができない。また、外国人観光客もいないことで、日本のよさを紹介する必然性が乏しい。そこで、5年時の担任の先生が、現在勤務しているスペインの日本人学校の子どもたちに、日本のよいところを紹介するという単元ゴールの言語活動を設定することで、児童の意欲を喚起する。同じ日本人とはいえ、スペインでの生活が長い子どもたちにとっては、日本各地の名所や食べ物、行事、自然には馴染みがない子もいると聞いている。そのため、日本のよさを伝えるために必要な表現の定着を図るとともに、他者へ配慮したやり取りについての思考も高められるようにする。

本時は、単元ゴールの1時間前の学習であり、実際に紹介カードを初めて作る場面となる。友達同士で役割分担をした後、自分の思いや考えを広げたり深めたりできるような個別活動やグループ活動ができるようにしたい。

7 関連構想図



8 本時案

(1)本時のねらい

- ・ 日本のよいところを紹介する紹介カードを作成することができる。

(2)展開

学習活動	教師の指導・支援(●HRT, ■ALT ▲JTE)	学習評価
<p>1 Greeting</p> <p>2 Warm up</p> <p>3 Review 「キーワードゲーム」</p> <p>4 Demonstration 「紹介カードを用いて」</p> <p>5 Aim</p>	<p>●■▲英語で挨拶をした後、気分や天気、曜日、日付、好きなものなどについて尋ねることで、日常的に使える英語表現に慣れ親しむことができるようにする。</p> <p>●■▲日本の料理をお題にして伝え合う活動を通して、既習の英語表現を引き出す力を高めるようにする。</p> <p>●写真を順番に9枚提示し、その写真に合った形容詞を答えるゲームをすることで、紹介カードを作るときに、より多くの表現を使うことができるようにする。</p> <p>①▲Hello. My name is Sugimoto Hirotooshi.Nice to meet you. ■Hello.My name is Kojyo Daisy. Nice to meet you too. ▲Welcome to Japan. We have hot springs in Oita. ▲Do you know hot spring? ▲Hot springs in Oita is famous. ▲Please visit Oita. Thank you. See you! ■See you!</p> <p>②■Welcome to Japan. You can eat udon in Kagawa. ■Do you know udon? Do you like udon? ■It's very delicious. Color is white. Please try it. ■Thank you.See you! ▲See you!</p> <p>●前時のデモンストレーションとどちらが分かりやすいか、また、それはなぜかを話し合うことで本時のめあてにつなげられるようにする。</p> <p>●「スペインの子どもたちに日本のよいところを分かりやすく紹介しよう」という単元ゴールを達成するため、本時で取り組む Aim について話し合う。</p>	
<p>Aim 日本のよいところを伝える紹介カードを作ろう。</p>		
<p>6 Activity ・紹介カード作成①</p>	<p>●前時に作った3人組で、1人1枚、手際よく、紹介カードの作成に取り組むことができるようにする。</p> <p>●紹介する相手がスペインの日本人学校にいる子どもたちであることを想起させ、よりよく日本のことを伝えるにはどうしたらよいか考えさせる。</p> <p>■▲各グループを観察し、助言をしたり新しい表現と一緒に考えたりする。(spell please) (例) Okayama Castle is famous. It's a great place. Please visit Okayama.</p> <p>■▲新しい表現に慣れていない児童に発音の支援をす</p>	<p>◇日本のことを紹介する表現について書くことができる。 〈行動観察・書き込み点検〉 【知・技】書 【思・判・表】書</p>

<p>・ 中間交流</p> <p>・ 紹介カード作成②</p>	<p>る。</p> <p>●▲■作成できているところまでを、グループ内で Small Talk し、気付いたことを発表し合うことでよさを認め合い、さらに新しい表現を広げられるようにする。</p> <p>●場所を伝える表現を入れると、より分かりやすく、相手に親切であるということを伝え、場所を説明する表現が使えるようにする。</p> <p>■新しい表現の発音を示し、練習を促す。</p> <p>Between Osaka and Hiroshima.</p> <p>●早く終わった児童は、参観者を相手に紹介を行うことで、英語が伝わる喜びを感じたり、新たな表現を取り入れようとする意欲をもったりすることができるようにする。</p> <p>参観者：もっと知りたいことを質問する。 新しい表現が使えた個人やグループを称揚する。</p> <p>■▲アルファベットの書き方を確かめながら、机間指導する。</p>	<p>◇新たな表現を取り入れ、紹介カードをさらに工夫して作成しようとしている。 ＜行動観察・書き込み点検＞ 【主】書</p>
<p>7 Comment time</p> <p>・ 日本のよいところが伝わる紹介カードを作ることができてよかった。</p> <p>・ グループ内でアドバイスをし合ったから、よりよい紹介カードを作ることができた。</p> <p>・ Between をつかうと、紹介したい場所を分かりやすく伝えられることが分かった。</p>		
<p>8 Greeting</p>	<p>●できるようになったことやグループの人との協力を称揚することで、スペインの子どもたちに紹介する意欲を高められるようにする。</p> <p>■紹介カード作成にあたって、よかったことや気になること、実際に紹介するとき気を付けたらよいところなどを伝え、次時の活動に目が向くようにする。</p> <p>▲中学校へのつながりを意識できるコメントを伝える。</p> <p>●気持ちのよい挨拶をすることで、次時への意欲を高めることができるようにする。</p>	

(3) 板書計画

<p>Goal</p>	<p>スペインの子どもたちに、日本のよいところを分かりやすく紹介しよう。</p>					
<p>Aim</p>	<p>日本のよいところを伝える紹介カードを作ろう。</p>					
<table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td data-bbox="240 1626 646 1688" style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>わかりやすく伝える表現</p> </td> <td data-bbox="646 1626 1485 1688" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>やりとりをしているときに工夫できるところ</p> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="240 1688 646 1912"> <ul style="list-style-type: none"> ・ great ・ nice ・ beautiful ・ color ・ delicious ・ season ・ famous </td> <td data-bbox="646 1688 1485 1912"> <p>質問しよう！ Do you know~? Do you like ~?</p> <p>新たな表現！ Between ○○ and □□</p> </td> </tr> </table>			<p>わかりやすく伝える表現</p>	<p>やりとりをしているときに工夫できるところ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ great ・ nice ・ beautiful ・ color ・ delicious ・ season ・ famous 	<p>質問しよう！ Do you know~? Do you like ~?</p> <p>新たな表現！ Between ○○ and □□</p>
<p>わかりやすく伝える表現</p>	<p>やりとりをしているときに工夫できるところ</p>					
<ul style="list-style-type: none"> ・ great ・ nice ・ beautiful ・ color ・ delicious ・ season ・ famous 	<p>質問しよう！ Do you know~? Do you like ~?</p> <p>新たな表現！ Between ○○ and □□</p>					

Lesson 4 Welcome to Japan. 日本のことを紹介しよう。

Grade Name _____

がんばるリスト

できた → とてもよくできた

日本の食べ物、自然、行事、名所を読むことができる。



くわしく紹介するための表現を使って、相手にとって分かりやすい紹介カードを作ることができる。



相手に、日本のよいところをわかりやすく伝えたり、質問や反応をしたりすることができる。



単語のはじめの音を聞いて、小文字を正しく選び、書くことができる。



Date /	Aim	How about today's lesson? ・がんばった・初めて知った・前と比べて ・難しかった・次回は…
Date /		
Date /		
Date /		
Date /		
Date /		
Date /		

紹介カードの見本



I introduce Japan in English!
We have Udon. Udon is famous in Kagawa.
You can eat it in Kagawa.
Kagawa is between Okayama and
Tokushima.
It's great and delicious. Please try it!